

教育革新シンポジウム

テーマ

大学院生とともに創る学習経験 –TAを超えて–
Creating Learning Experiences with Graduate Students: Beyond TAs

日時

2019年1月30日 水
14:00-17:50 (開場 13:30)

場所

東京工業大学大岡山キャンパス
西9号館2階 デジタル多目的ホール,
メディアホール



主催：東京工業大学教育革新センター

概要：「自ら学び考える学生」を育成するには、主体的な学修への取組みを促す教育的な仕掛けが必要です。その実現に向けて、多くの大学ではアクティブラーニングの導入や授業のリデザイン、正課外活動の支援や学習スペースの改修といった工夫が始まっています。学生が学ぶ意義を感じることでできる「学習経験」創りに重要なアクターの1つに大学院生の存在があります。本シンポジウムでは、学生を主体的な学び手としていくために、学習経験を創るプロセスに大学院生が関わること、これからの大学教育と大学院生の役割について、参加者の皆様と考えていきます。

対象：本学教職員・学生・他大学教職員など



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

教育革新シンポジウム

登壇者 SPEAKERS



Marcia Yonemoto, Ph.D.
Director of the Graduate
Teacher Program
University of Colorado Boulder



佐藤 万知
広島大学
高等教育研究開発センター
准教授



Preston Cumming, Ph.D.
Lead Coordinator of the
Graduate Teacher Program
University of Colorado Boulder



Mark Pleiss, Ph.D.
Lead Coordinator of the
Graduate Teacher Program
University of Colorado Boulder



室田 真男
東京工業大学
リベラルアーツ研究教育院教授
・副研究教育院長

最新の情報は随時更新しております。
参加お申込みはこちら
[https://www.citl.titech.ac.jp/
citlsympo2018/](https://www.citl.titech.ac.jp/citlsympo2018/)



プログラム PROGRAM

13:30~14:00 開場・受付

14:00~15:00 交歓会 & ポスターセッション

ポスターセッションには、登壇者5名も合流します。
《ポスターセッション展示予定一覧》

【学内】アクティブ・ラーニング支援制度採択取組
み、創造性育成科目選定取組、HAPPIER、情報
活用IR室、OEDO、CITL

【学外】九州工業大学、広島大学、
国際基督教大学、成蹊大学、横浜商科大学

15:00~15:05 開会挨拶・趣旨説明

15:05~16:05 KEYNOTE SPEECH (同時通訳あり)

Marcia Yonemoto, Ph.D.
Preston Cumming, Ph.D.
Mark Pleiss, Ph.D.

コロラド大学ボルダー校における、
GTP (Graduate Teacher Program) の概要と
実践について、ご講演いただきます。

16:05~16:30 CASE 1

佐藤万知

広島大学の「HIRODAI TA制度」の取組みに
ついて、ご報告いただきます。

16:30~16:55 CASE 2

室田 真男

本学の「GSA (Graduate Student Assistant) 制
度」の取組みについて、ご報告いただきます。

17:00~17:40 ROUND TABLE

登壇者5名とフロアを交えながら、本シンポジ
ウムのテーマを深めます。

moderator 田中 岳 (教育革新センター教授)

17:40~17:50 閉会挨拶

アクセス ACCESS



CITL

教育革新センター

Center for Innovative Teaching and Learning

CITLは、東京工業大学の教育研究理念と戦略に基づき、教育手法の革新、継続的な教育の支援及び質向上のための教育マネジメント体制の構築などを行うことにより、教授力と教育意識の高い教員と、意欲にあふれた学力及び人間力の高い学生の育成を図り、世界最高の理工系総合大学の実現に資することを目的として、2015年4月1日に開設されました。